



橋の会通信虹

第76号 2019.3.28
金沢区手話サークル「橋の会」
発行責任者 田中 保
http://www.y-hashinokai.com

これからの予定 (関連団体含む)
4月11日(木)「橋の会」平成30年度定期総会
4月28日(日)区聴協 定期総会

■ 新年会～1月10日(木) いきいきセンター金沢 参加者42名



話題は尽きません

在籍年数の長い会員が外側に、それ以外の会員が内側に着席してそれぞれのテーブルに置かれたメモにふさわしい話題で盛りあがりました。普段の学習会では接点のない会員同士が交流できる場でもあり、手の動きより口の動きの方が目立つ、賑やかな新年会になりました。(広報)

■ 講演会「みんなで学んでみよう パートⅢ」木村誠氏

～1月17日(木)いきいきセンター金沢 参加者42名



QRコード活用を!!



講師の木村氏

今回ろう者とやり取りをしながら、出席者も交えてみんなで学ぶという参加型の講演会でした。昨年の復習となると忘れていたことが多く自分自身にガッカリです。それでも、思い出したり考えたりして楽しく学ぶことができました。中でもQRコードリーダーで単語の表し方を動画で見たときは、技術の進歩に感動しました。イラストでは分からない手の向きも、正面と側面から撮ってあったのでとても分かりやすかったです。これで覚えるのが早くなり、ろう者とのお話が弾むようになったらいいな～って思いました。(山野)

■ お知らせ

「橋の会」の竹内康之さん、篠崎巖さんが、3月2日(土)開催された金沢区の「福祉保健のつどい」の席上で、同区社会福祉協議会から社会福祉功労者として表彰されました。おめでとうございます。(広報)



篠崎さん 竹内さん

■ 春山恭子さまから届いた、橋の会みなさまへのメッセージです

長い間、本当にお世話になりました。このサークルでは手話以外にも学ぶことが多かったです。ある時は広報委員として、また学習委員として、みなさまにご協力いただきながらいろいろ勉強になりました。もっとこうすればよかったな～という反省点も多々あります。春のお花見、バーベキュー、ボーリング、クリスマス会、バスツアーなどなど、たくさんさんの思い出も作ることができました。行事を通して普段出会うことのなかった、ろうの方々とお会いし、手話という言葉を感じて、世界が本当に広がりました。とにかく、木曜日のこの時間はホッとする時間であり、場所でした。金沢区に住んで良かったと思えることの一つです。

今後は介護を仕事とし、また新しい世界に入っていきます。不安はありますが、どんなところでも(どうせやるなら全力で!)をモットーにがんばっていきたく思います。

温かい楽しい橋の会が永遠に続きますように。ありがとうございました。

■ 金沢八景ハイキング～3月21日(木)曇り 参加者14名

横浜にソメイヨシノの開花宣言がされた3月21日の春分の日、金沢八景の由来と今昔を知るハイキングが行われました。田中会長のわかりやすい説明と金沢の歴史にみんな興味津々。とても楽しい時間でした。(吉野)



出発前の説明



乙舳帰帆と自然海岸



案内人



通訳は多賀さん



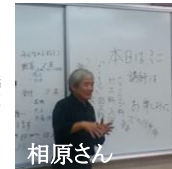
長州ファイブの山尾庸三の話



野島山展望台、もうすぐランチ!

■ 相原さんと橋本さんのミニ講演会～3月14日(木)いきいきセンター金沢 参加者35名

区聴協のお二方に、体験談をお願いしました。話題豊富で、読み取りのいい機会になりました。ありがとうございました。(田中)



相原さん



橋本さん



読取れましたか

■ 各委員会報告

学習委員会 第2木曜日定例会終了後、学習委員会を開きます。2019年度も楽しい学習ができるように、委員一同頑張ります。また 随時、委員も募集しています。(welcome! (^)/) 皆さまの「こんなことやりたい!」「こんな時 どうしたらいいの?」等々、ご意見お待ちしております。

交流委員会 今年も交流の行事にご協力・ご参加ありがとうございました。楽しんでいただけましたか? 2019年は、アンケートなど会員の皆さまからの意見を参考に考えていきます。「新しいアイデアあるよ」「委員会に入りたい」いつでも大歓迎! ワクワクしたい人は、毎月第3木曜日17:30に集合!!

広報委員会 橋の会通信 虹 を現在は年に5回のペースで発行しています。その準備のための委員会は毎月第1木曜日17時30分から開催します。多岐にわたる会の活動や関連事業の内容、新入会員の紹介について掲載しますので活動全般と1年の流れについて理解できます。記事になる前の話が実は面白いので一度は委員になることをおススメします。

新コラムシリーズ
「ユニバーサルデザイン
(UD)」その2

7つの原則があります。
1. 公平性 (公平な利用) 2. 自由度 (利用における柔軟性) 3. 簡単さ (単純で直感的な利用) 4. 明確さ (認知できる情報) 5. 安全性 (失敗に対する寛容さ) 6. 持続性 (少ない身体的な努力) 7. 空間性 (接近や利用のためのサイズと空間) このデザインの考え方はバリアフリーよりも、さらに一歩進んだみんなのためのものです。